

# 第 132 回日本脳神経外科学会九州支部会 プログラム

令和元年 6 月 29 日 (土)  
おきなわクリニカルシミュレーションセンター (3 階)

受付 : 午前 8 時 00 分

開会 : 午前 8 時 30 分

理事会 : 午後 12 時 00 分 (1 階 107 号室)

ランチオンセミナー : 午後 12 時 30 分

FD 講習会 : 17 時 35 分

## 〈連絡事項〉

- 1) 脳神経外科専門医の方は、IC 会員カードでの専門医クレジット登録になります。IC 会員カードをご持参ください。IC 会員カードをお持ちでない方は、専門医番号での登録が可能です。
- 2) 現在、日本脳神経外科学会が行う学術集会・支部学術集会における発表者は、利益相反 conflict of interest (COI) 状態を開示する義務があります。COI 自己登録および発表スライドに旨を記載する事が必要ですのでご注意ください。(詳細は日本脳神経外科学会ホームページをご参照下さい。)
- 3) 本支部会のランチオンセミナーは新専門医制度の脳神経外科領域講習 (1 単位) として認定されております。詳細はプログラムをご参照下さい。なお本支部会では医療安全講習会は開催致しません。
- 4) 理事会は 12 時より 1 階 107 号室で開催します。理事の先生方はご参集下さい。
- 5) 会費 : 1000 円

### ＜脳神経外科領域講習について＞

- 1) 本支部会のランチセミナーは新専門医制度の領域講習（1単位）として認定されております。参加予定者はご来場し「参会受付」を済ませた後に、同じフロアの「入退場受付」にもお立ち寄り頂き「IC 会員カード」をカードリーダーにかざして「入場受付」を行ってください。またランチセミナー終了後、お帰りになられる際（退場時）に必ず入退場受付にお立ち寄り頂き「退場受付」を行ってください。
- 2) 単位算定は IC カード読み取りにより機械的に行われ指定業者により自動集計されます。
- 3) データは学会事務局で保管致しませんので申し訳ございませんが、入退場の受付を失念された場合、期間中の受付デスクまたは後日学会事務局で個別に対応することが一切できません。特に退場時の受付をお忘れにならないよう、ご注意下さい。
- 4) 非専門医の先生方は上記受付をして頂く必要ございません（認定単位はありません）。

### ＜口演要領＞

- 1) 講演時間：6分（予鈴 5分）、質疑応答：2分、合計持ち時間は8分間です。
- 2) 発表形式：PC、液晶プロジェクター 1台
- 3) 発表者は遅くとも30分前には受付を行って下さい。発表の10分前には次演者席にご着席下さい。発表時は演台上にモニター、マウスを設置致しますのでご自身で操作をお願いいたします。
- 4) USB メディアでの発表が可能ですが、動画・音声を用いる場合は Power Point 文書ともに動画・音声データを忘れずにお持ち下さい
- 5) OS は Windows, Power Point 2010-2016 に対応しております。尚、Mac OS には対応しておりませんので、上記環境にてご発表頂くかご自身の PC 持ち込みでお願いいたします。
- 6) 持ち込み PC の場合、会場プロジェクターとの接続は HDMI 及び D-sub15 ピンコネクタとなります。
- 7) 発表資格：発表者は九州支部会会員で年会費を納めている必要があります。但し、初期研修医及び他の支部会に所属し年会費を納めている者は、学術集会参加費のみでの発表が許容されます。入会に関しては九州支部ホームページ (<http://square.umin.ac.jp/jnskyu/index.htm>) をご参照下さい。

### ＜FD 講習について＞

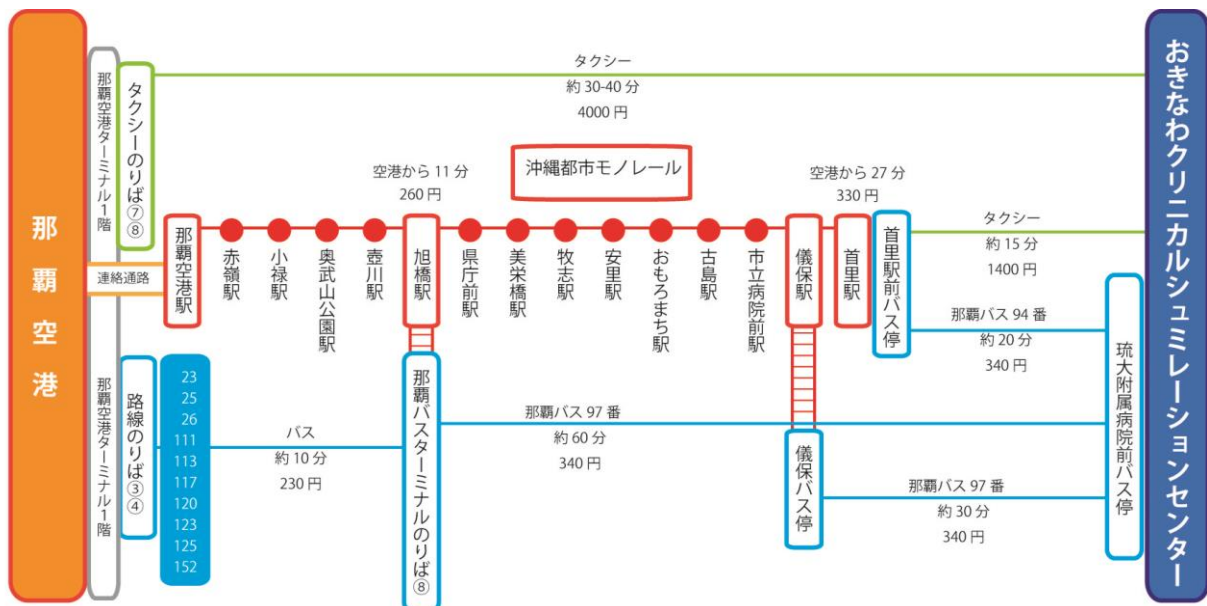
- 1) 本支部会終了後に行います。講習会の最初から最後まで視聴して頂くことを受講要件とします。途中退席はいかなる理由があっても無効となります。
- 2) 受講の事前登録は不要です。当日会場での登録となります。
- 3) 受講のご希望の先生は必ずご自身の IC 会員カードを受付にお持ちください。

## [交通のご案内]

※ご注意

那覇市内の交通事情は慢性的な渋滞で見込めませんので、会場（おきなわクリニカルシュミレーションセンター）までの交通手段は下記をご参考下さい。

- ① レンタカーを利用する（約 30-40 分）。駐車場はおきなわクリニカルシュミレーションセンター周囲の駐車場をご利用下さい。
- ② 那覇空港からタクシーを利用する（約 30-40 分、4000 円）。
- ③ 那覇空港からモノレールに乗り首里駅（終点）からタクシーを利用する（約 45 分、1730 円）。
- ④ 那覇空港からモノレールに乗り首里駅（終点）からバス（94 番線）を利用する（約 50 分、670 円）。※バスのご利用はバスナビ沖縄（<https://www.busnavi-okinawa.com/top>）にてバス運行状況が確認できます。



## [会場案内]

- ※ 会場は「おきなわクリニカルシュミレーションセンター」です。
- ※ 琉球大学医学部正門を入りすぐ右手の建物が会場です。



開会の辞 8:30

石内勝吾

(琉球大学大学院脳神経外科学 教授)

●セッション1 脳腫瘍 I 8:35~9:15

---

座 長 横上 聖貴 (宮崎大学)

コメンテーター 札幌 博貴 (大分大学)

**S1-1 経頭蓋到達法と経鼻到達法の Combined approach による腫瘍摘出術**

1 琉球大学医学部脳神経外科

2 浦添総合病院脳神経外科

3 沖縄県立北部病院脳神経外科

○外間 洋平<sup>1</sup>、國仲 倫史<sup>2</sup>、小林 繁貴<sup>3</sup>、金城 雄生<sup>1</sup>、上原 卓実<sup>1</sup>、長嶺 英樹<sup>1</sup>、宮城 智央<sup>1</sup>、菅原 健一<sup>1</sup>、石内 勝吾<sup>1</sup>

**S1-2 小児に発生した中頭蓋窩髄膜腫の一例**

1 琉球大学医学部脳神経外科

○上原 卓実<sup>1</sup>、金城 雄生<sup>1</sup>、長嶺 英樹<sup>1</sup>、外間 洋平<sup>1</sup>、宮城 智央<sup>1</sup>、菅原 健一<sup>1</sup>、石内 勝吾<sup>1</sup>

**S1-3 術中に神経の走行が不明であったが術後完全外転神経麻痺の後に完全に回復した外転神経鞘腫の一例**

1 九州医療センター脳神経外科

○宮松 雄一郎<sup>1</sup>、松尾 諭<sup>1</sup>、山下 壮二郎<sup>1</sup>、天野 敏之<sup>1</sup>、中溝 玲<sup>1</sup>

**S1-4 左側頭部痛、顔面感覚低下で発症した左錐体尖部コレステリン肉芽腫に対し Endoscopic infrapetrous approach によるドレナージが奏功した一例**

1 九州大学大学院医学研究院脳神経外科

2 九州大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科

○松水 和徳<sup>1</sup>、赤木 洋二郎<sup>1</sup>、空閑 太亮<sup>1</sup>、秦 暢宏<sup>1</sup>、宮本 雄介<sup>2</sup>、小宗 徳孝<sup>2</sup>、村上 大輔<sup>2</sup>、溝口 昌弘<sup>1</sup>、飯原 弘二<sup>1</sup>

**S1-5 眼窩内 solitary fibrous tumor の1例**

1 鹿児島市立病院脳神経外科

○田上 なつ子<sup>1</sup>、森 正如<sup>1</sup>、山田 正彦<sup>1</sup>、駒柵 宗一郎<sup>1</sup>、川原 団<sup>1</sup>、西牟田 洋介<sup>1</sup>、時村 洋<sup>1</sup>

## ●セッション2 脳腫瘍Ⅱ 9:17~10:07

---

座長 増岡 淳 (佐賀大学)  
コメンテーター 空閑 太亮 (九州大学)

### S2-1 無症候性に約6年経過した異所性ACTH産生下垂体腺腫の一例

- 1 国家公務員共済組合連合会浜の町病院脳神経外科
  - 2 国家公務員共済組合連合会浜の町病院病理診断科
- 檜垣 梨央<sup>1</sup>、奥田 智裕<sup>1</sup>、米田 玲子<sup>2</sup>、松角 宏一郎<sup>1</sup>

### S2-2 非典型的な進展形式により頭蓋咽頭腫と鑑別を要した Exophytic pituitary adenoma

- 1 産業医科大学脳神経外科
  - 2 虎の門病院間脳下垂体外科
- 野口 祥平<sup>1</sup>、長坂 昌平<sup>1</sup>、鈴木 恒平<sup>1</sup>、中野 良昭<sup>1</sup>、岡田 満夫<sup>2</sup>、齋藤 健<sup>1</sup>、宮岡 亮<sup>1</sup>、高松 聖史郎<sup>1</sup>、酒井 恭平<sup>1</sup>、鳥居 里奈<sup>1</sup>、山本 淳考<sup>1</sup>

### S2-3 術前画像診断で鑑別が困難であった pituicytoma の1例

- 1 長崎大学医学部脳神経外科
- 塩崎 絵理<sup>1</sup>、吉田 光一<sup>1</sup>、馬場 史郎<sup>1</sup>、氏福 健太<sup>1</sup>、鎌田 健作<sup>1</sup>、案田 岳夫<sup>1</sup>、松尾 孝之<sup>1</sup>

### S2-4 20年の経過で再出血した視神経血管腫の一例

- 1 九州労災病院門司メディカルセンター
  - 2 戸畑総合病院
  - 3 産業医科大学脳神経外科
- 梅村 武部<sup>1</sup>、宮地 裕士<sup>1</sup>、西澤 茂<sup>2</sup>、山本 淳考<sup>3</sup>

### S2-5 Gardner 症候群の合併を疑う小脳橋角部に発生した頭蓋咽頭腫の1例

- 1 宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野
  - 2 宮崎大学医学部病理診断科
- 堀之内 翔一<sup>1</sup>、山下 真治<sup>1</sup>、末松 裕貴<sup>1</sup>、齋藤 清貴<sup>1</sup>、渡邊 孝<sup>1</sup>、横上 聖貴<sup>1</sup>、大栗 伸行<sup>2</sup>、佐藤 勇一郎<sup>2</sup>、竹島 秀雄<sup>1</sup>

## ●セッション3 脳腫瘍Ⅲ 10:09~10:57

---

座長 秦 暢宏 (九州大学)  
コメンテーター 山下 信治 (宮崎大学)

### S3-1 脳室内出血で発症した中間型毛様類粘液性星細胞腫(PMA)の一成人例

- 1 敬愛会中頭病院脳神経外科
  - 2 敬愛会中頭病院病理診断科
  - 3 福岡県済生会八幡病院脳神経外科
  - 4 久留米大学医学部病理学
  - 5 久留米大学医学部脳神経外科
- 土井 亮<sup>1</sup>、伊東 夏子<sup>1</sup>、仲田 典広<sup>2</sup>、宮城 尚久<sup>3</sup>、杉田 保雄<sup>4</sup>、森岡 基浩<sup>5</sup>

### S3-2 第四脳室内腫瘍による局在関連てんかん呈した乳児の1手術例

- 1 九州大学大学院医学研究院脳神経外科
  - 2 福岡市立病院機構福岡市立こども病院脳神経外科
  - 3 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野
  - 4 九州大学大学院医学研究院神経病理学
- 小野 光太郎<sup>1</sup>、迎 伸孝<sup>1</sup>、溝口 昌弘<sup>1</sup>、森岡 隆人<sup>2</sup>、鳥尾 倫子<sup>3</sup>、酒井 康成<sup>3</sup>、有村 公一<sup>1</sup>、秦 暢宏<sup>1</sup>、鈴木 諭<sup>4</sup>、飯原 弘二<sup>1</sup>

### S3-3 第3脳室から側脳室内にかけて発生した rosette-forming glioneuronal tumor (RGNT) の1例

- 1 宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野
  - 2 宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野
- 中武 康隆<sup>1</sup>、齋藤 清貴<sup>1</sup>、山下 真治<sup>1</sup>、渡邊 孝<sup>1</sup>、横上 聖貴<sup>1</sup>、前川 和也<sup>2</sup>、佐藤 勇一郎<sup>2</sup>、竹島 秀雄<sup>1</sup>

### S3-4 Pineal parenchymal tumor of intermediate differentiation 治療約10年後に脊髄播種で再発した1例

- 1 熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学分野
  - 2 熊本大学病院 病理診断科
- 宮崎 愛里<sup>1</sup>、伊東山 剛<sup>1</sup>、上田 隆太<sup>1</sup>、篠島 直樹<sup>1</sup>、牧野 敬史<sup>1</sup>、武笠 晃丈<sup>1</sup>、三上 芳喜<sup>2</sup>

### S3-5 側頭葉を主座とし、急激に悪化した H3 K27M/P53 変異を伴う Glioblastoma の一例

1 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科

○増田 圭亮<sup>1</sup>、比嘉 那優大<sup>1</sup>、米澤 大<sup>1</sup>、坂元 顕久<sup>1</sup>、内田 裕之<sup>1</sup>、吉本 幸司<sup>1</sup>

### S3-6 摘出術のタイミングに苦慮した Growing teratoma syndrome の1例

1 独立行政法人国立病院機構災害医療センター脳神経外科

2 久留米大学医学部脳神経外科

3 久留米大学医学部病理学講座

○濱本 裕太<sup>1</sup>、中村 英夫<sup>2</sup>、梶原 壮翔<sup>2</sup>、古賀 誉久<sup>2</sup>、小牧 哲<sup>2</sup>、古田 拓也<sup>3</sup>、杉田 保雄<sup>3</sup>、森岡 基浩<sup>2</sup>

## ●セッション4 脳腫瘍Ⅳ 10:59~11:39

---

座 長 中野 良昭 (産業医科大学)

コメンテーター 米澤 大 (鹿児島大学)

### S4-1 内耳道内に進展し、顔面神経鞘腫が疑われた Salivary Duct Carcinoma の一例

1 福岡大学医学部脳神経外科

2 貝塚病院脳神経外科

3 福岡大学病院救命救急センター

4 福岡大学医学部耳鼻咽喉科

5 福岡大学医学部病理学講座

○宮川 健<sup>1</sup>、榎本 年孝<sup>2</sup>、古賀 嵩久<sup>3</sup>、松本 順太郎<sup>1</sup>、小林 広昌<sup>1</sup>、竹内 寅之進<sup>4</sup>、野中 将<sup>1</sup>、安部 洋<sup>1</sup>、鍋島 一樹<sup>5</sup>、井上 亨<sup>1</sup>

### S4-2 肺小細胞癌を原発とした転移性脳腫瘍術後に複視で発症した Lambert Eaton Myathenic Syndrome の1例

1 原三信病院脳神経外科

2 原三信病院脳神経内科

3 原三信病院病理診断科

4 原三信病院呼吸器科

○舟越 勇介<sup>1</sup>、庄野 禎久<sup>1</sup>、山上 敬太郎<sup>1</sup>、黒木 愛<sup>1</sup>、藤木 富士夫<sup>2</sup>、河野 眞司<sup>3</sup>、高木 陽一<sup>4</sup>

### S4-3 右眼窩内および左後頭部硬膜転移を来した神経内分泌腫瘍の一例

1 九州医療センター脳神経外科

2 九州医療センター病理診断科

○山下 壮二郎<sup>1</sup>、松尾 諭<sup>1</sup>、宮松 雄一郎<sup>1</sup>、天野 敏之<sup>1</sup>、桃崎 征也<sup>2</sup>、中溝 玲<sup>1</sup>



#### S4-4 硬膜附着部のない中枢神経原発 MALT lymphoma の 1 例

1 大分大学医学部脳神経外科

○松下航<sup>1</sup>、札幌 博貴<sup>1</sup>、靱井 泰朋<sup>1</sup>、大西 晃平<sup>1</sup>、藤木 稔<sup>1</sup>

#### S4-5 Intracerebral osteosarcoma の 1 例

1 国家公務員共済組合連合会浜の町病院脳神経外科

2 九州大学大学院医学研究院神経病理学

○奥田 智裕<sup>1</sup>、檜垣 梨央<sup>1</sup>、鈴木 諭<sup>2</sup>、松角 宏一郎<sup>1</sup>

### ●セッション 5 脊髄・機能 11:41~12:29

---

座 長 内田 晋 (大分大学)

コメンテーター 齋藤 健 (産業医科大学)

#### S5-1 馬尾に AV shunt を形成した perimedullary AVF の一例

1 浦添総合病院脳神経外科

2 琉球大学医学部附属病院脳神経外科学教室

○國仲 倫史<sup>1</sup>、原國 毅<sup>1</sup>、菅原 健一<sup>2</sup>、石内 勝吾<sup>2</sup>

#### S5-2 膀胱直腸障害を呈した sacral Tarlov cyst の小児例

1 佐賀大学医学部 卒後臨床研修センター

2 佐賀大学医学部脳神経外科

3 高邦会高木病院脳神経外科

4 佐賀大学医学部 泌尿器科

○前山 元<sup>1</sup>、吉岡 史隆<sup>2</sup>、下川 尚子<sup>3</sup>、里地 葉<sup>4</sup>、江橋 諒<sup>2</sup>、伊藤 寛<sup>2</sup>、井上 浩平<sup>2</sup>、中原 由紀子<sup>2</sup>、増岡 淳<sup>2</sup>、阿部 竜也<sup>2</sup>

#### S5-3 腰椎穿刺後に症状改善した arachnoid web の一例

1 佐世保市総合医療センター

○小川 由夏<sup>1</sup>、藤本 隆史<sup>1</sup>、林 健太郎<sup>1</sup>、岩永 充人<sup>1</sup>

#### S5-4 頸椎症性神経根症に対して、経皮的内視鏡下椎間孔拡大術を行った 1 例

1 浦添総合病院脳神経外科

○原国 毅<sup>1</sup>、国仲 倫史<sup>1</sup>

### S5-5 特発性三叉神経痛に対するガンマナイフ治療後に発生した上小脳動脈瘤により症候性三叉神経痛をきたした1例

1 済生会熊本病院脳卒中センター脳神経外科

2 熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学分野

○潟山 高士<sup>1</sup>、賀末 泰之<sup>2</sup>、山本 東明<sup>1</sup>、森川 裕介<sup>2</sup>、末吉 博之<sup>1</sup>、野村 和希<sup>1</sup>、鈴木 悠平<sup>1</sup>、天達 俊博<sup>1</sup>、植川 顕<sup>1</sup>、加治 正知<sup>1</sup>、後藤 智明<sup>1</sup>、大森 雄樹<sup>2</sup>、武笠 晃丈<sup>2</sup>、山城 重雄<sup>1</sup>

### S5-6 Tourette 症候群に対する DBS 治療の1経験

1 福岡輝栄会病院脳神経外科

2 大阪桐蔭女子大学健康栄養学科

○石橋 秀昭<sup>1</sup>、開道 貴信<sup>2</sup>、尤 郁偉<sup>1</sup>、阿部 悟朗<sup>1</sup>、伊藤 理<sup>1</sup>、鈴木 聡<sup>1</sup>

## ■ランチオンセミナー 12:30~13:30

### 「悪性神経膠腫の症例に応じた手術方法の選択と 他職種とのコラボレーション」

弘前大学大学院医学研究科脳神経外科 准教授  
浅野 研一郎 先生

---

座長 高良 英一（沖縄赤十字病院 名誉院長）

共催：第132回日本脳神経外科学会九州支部会/エーザイ株式会社

## ●セッション6 外傷・その他 13:40~14:12

---

座長 吉田 光一（長崎大学）

コメンテーター 吉富 宗健（久留米大学）

### S6-1 上矢状静脈洞近傍の穿通性外傷の一例

1 (株)麻生飯塚病院脳神経外科

2 国際医療福祉大学三田病院脳神経外科

○藤井 裕太郎<sup>1</sup>、三木 健嗣<sup>2</sup>、野口 直樹<sup>1</sup>、村田 秀樹<sup>1</sup>、山田 哲久<sup>1</sup>、甲斐 康稔<sup>1</sup>、名取 良弘<sup>1</sup>

## S6-2 頭部外傷後遅発性脳腫脹に対し脳圧がコントロールされていたにも関わらず2度の外減圧開頭術を要した1例

1 久留米大学医学部脳神経外科

2 久留米大学病院臨床研修センター

○大久保 卓<sup>1</sup>、宮川 はるか<sup>2</sup>、中嶋 大介<sup>1</sup>、梶原 壮翔<sup>1</sup>、竹内 靖治<sup>1</sup>、廣畑 優<sup>1</sup>、森岡 基浩<sup>1</sup>

## S6-3 慢性硬膜下血腫合併脳脊髄液減少症に対する治療法の検討

1 佐賀大学医学部脳神経外科

2 佐賀大学医学部麻酔・蘇生学

○並川 裕貴<sup>1</sup>、吉岡 史隆<sup>1</sup>、北村 静香<sup>2</sup>、古川 隆<sup>1</sup>、高口 素史<sup>1</sup>、緒方 敦之<sup>1</sup>、中原 由紀子<sup>1</sup>、増岡 淳<sup>1</sup>、平川 奈緒美<sup>2</sup>、阿部 竜也<sup>1</sup>

## S6-4 中硬膜動脈塞栓術が有効であった難治性慢性硬膜下血腫の一例

1 社会医療法人製鉄記念八幡病院脳卒中・神経センター

○春山 裕典<sup>1</sup>、山口 慎也<sup>1</sup>、佐山 徹郎<sup>1</sup>

## ●セッション7 感染 14:14~14:54

---

座 長 篠島 直樹 (熊本大学)

コメンテーター 吉岡 史隆 (佐賀大学)

## S7-1 摘出術・抗生剤加療後に再燃を来したPituitary abscessの一例の検討と反省

1 熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学分野

2 独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院

3 新別府病院脳神経外科

○河野 達哉<sup>1</sup>、篠島 直樹<sup>1</sup>、中垣 祐紀<sup>2</sup>、大田 和貴<sup>1</sup>、伊東山 剛<sup>3</sup>、宮崎 愛里<sup>1</sup>、武笠 晃丈<sup>1</sup>

## S7-2 骨粗鬆症性椎体骨折に腸腰筋膿瘍を合併症した2症例

1 新小文字病院脊髄脊椎外科治療センター

2 東京品川病院 脊髄脊椎外科

○久壽米木 亮<sup>1</sup>、高橋 雄一<sup>1</sup>、守本 純<sup>1</sup>、西田 憲記<sup>2</sup>

### S7-3 副鼻腔炎を契機に発症し上矢状静脈洞上に伸展した硬膜外膿瘍の一例

1 久留米大学医学部脳神経外科

2 久留米大学医学部耳鼻咽喉科

○安藤 尊康<sup>1</sup>、吉武 秀展<sup>1</sup>、黒岩 大海<sup>2</sup>、深堀 光緒子<sup>2</sup>、三橋 拓之<sup>2</sup>、梅野 博仁<sup>2</sup>、森岡 基浩<sup>1</sup>

### S7-4 複数菌種同定された口腔内由来脳膿瘍の一例

1 長崎労災病院脳神経外科

○岡村 宗晃<sup>1</sup>、広瀬 誠<sup>1</sup>、白川 靖<sup>1</sup>、北川 直毅<sup>1</sup>

### S7-5 Propionibacterium acnes による感染性腹膜炎により左肩の放散痛を呈した VP シェント感染

1 産業医科大学脳神経外科

2 松戸市立総合医療センター小児脳神経外科

○鳥居 里奈<sup>1</sup>、酒井 恭平<sup>1</sup>、鈴木 恒平<sup>1</sup>、宮川 正<sup>2</sup>、中野 良昭<sup>1</sup>、齋藤 健<sup>1</sup>、宮岡 亮<sup>1</sup>、高松 聖史郎<sup>1</sup>、長坂 昌平<sup>1</sup>、野口 祥平<sup>1</sup>、山本 淳考<sup>1</sup>

## ●セッション 8 脳血管障害 I 14 : 56~15 : 44

---

座 長 河野 隆幸 (久留米大学)

コメンテーター 福田 健治 (福岡大学)

### S8-1 脳動脈瘤再破裂の瞬間を捉えた 3D-CTA 連続画像

1 熊本脳神経外科病院

2 水俣市立総合医療センター放射線技術科

3 光中央病院

4 熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学分野

○小林 修<sup>1</sup>、高橋 英夫<sup>2</sup>、吉川 真<sup>3</sup>、武笠 晃丈<sup>4</sup>

### S8-2 未破裂内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤を合併した破裂内頸動脈血豆状動脈瘤に対して clipping on wrapping で治療し得た一例

1 長崎大学医学部脳神経外科

○杉川 知香<sup>1</sup>、諸藤 陽一<sup>1</sup>、堀江 信貴<sup>1</sup>、出雲 剛<sup>1</sup>、案田 岳夫<sup>1</sup>、松尾 孝之<sup>1</sup>

### S8-3 小児の中大脳動脈瘤に対する high-flow bypass+trapping 術後に動脈瘤の再発を認め、コイル塞栓術を施行した 1 例

1 小倉記念病院脳卒中センター-脳神経外科

○桶谷 英司<sup>1</sup>、波多野 武人<sup>1</sup>、小柳 正臣<sup>1</sup>、千原 英夫<sup>1</sup>、小倉 健紀<sup>1</sup>、鈴木 啓太<sup>1</sup>、近藤 大祐<sup>1</sup>、鎌田 貴彦<sup>1</sup>、北村 泰佑<sup>1</sup>、坂井 翔建<sup>1</sup>、阪本 宏樹<sup>1</sup>、永田 泉<sup>1</sup>

#### S8-4 皮質静脈逆流を伴う内頸動脈海綿静脈洞瘻を来した海綿静脈洞部内頸動脈瘤の治療例

1 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター-脳神経外科

○山田 拓見<sup>1</sup>、後藤 克宏<sup>1</sup>、根路銘 千尋<sup>1</sup>、石原 興平<sup>1</sup>、竹下 朝規<sup>1</sup>、長嶺 知明<sup>1</sup>

#### S8-5 脳動脈瘤コイル塞栓術後 22 年の経過で再出血をきたした脳底動脈先端部動脈瘤の 1 例

1 福岡市民病院脳神経外科

2 福岡大学病院脳神経外科

○入江 由希乃<sup>1</sup>、福島 浩<sup>1</sup>、吉野 慎一郎<sup>1</sup>、平川 勝之<sup>1</sup>、井上 亨<sup>2</sup>

#### S8-6 Accessory ACA を伴う Acom AN に対してコイル塞栓術を行った一例

1 那覇市立病院脳神経外科

○宮里 清隆<sup>1</sup>、與那覇 博克<sup>1</sup>、友利 壮志<sup>1</sup>、新屋 貴裕<sup>1</sup>、下地 亮<sup>1</sup>、我那覇 司<sup>1</sup>、松山 美智子<sup>1</sup>、豊見山 直樹<sup>1</sup>

### ●セッション 9 脳血管障害Ⅱ 15 : 46~16 : 34

---

座 長 安部 洋 (福岡大学)

コメンテーター 賀来 泰之 (熊本大学)

#### S9-1 遺残舌下神経動脈が関与した症候性内頸動脈狭窄症に対し CEA を施行した一例

1 佐世保中央病院脳神経外科

2 佐世保中央病院脳血管内科

3 福岡大学脳神経外科

○天本 宇昭<sup>1</sup>、古賀 隆之<sup>1</sup>、手賀 丈太<sup>1</sup>、中島 弘淳<sup>2</sup>、竹本 光一郎<sup>1</sup>、阪元 政三郎<sup>1</sup>、井上 亨<sup>3</sup>

#### S9-2 Hybrid OR で複合治療を行った頸動脈狭窄症の一例

1 池友会福岡和白病院脳神経外科

○梶原 真仁<sup>1</sup>、原田 啓<sup>1</sup>、清澤 龍一郎<sup>1</sup>、三小田 享弘<sup>1</sup>、三本木 千尋<sup>1</sup>、植田 邦裕<sup>1</sup>、福

山 幸三<sup>1</sup>

### S9-3 内科的治療抵抗性の症候性椎骨動脈狭窄症に対し血管内治療が有効であった一例

1 那覇市立病院脳神経外科

○友利 壮志<sup>1</sup>、宮里 清隆<sup>1</sup>、新屋 貴裕<sup>1</sup>、下地 亮<sup>1</sup>、我那覇 司<sup>1</sup>、松山 美智子<sup>1</sup>、與那覇 博克<sup>1</sup>、豊見山 直樹<sup>1</sup>

### S9-4 スtent単独で治療した前大脳動脈解離の一例

1 中部徳洲会病院脳神経外科

○豊田 玲奈<sup>1</sup>、上原 卓実<sup>1</sup>、新垣 辰也<sup>1</sup>、沖山 幸一<sup>1</sup>

### S9-5 軽微な外傷を契機に形状変化したと考えられる虚血発症の解離性中大脳動脈瘤の一例

1 長崎医療センター脳神経外科

○松尾 彩香<sup>1</sup>、日宇 健<sup>1</sup>、川原 一郎<sup>1</sup>、原口 渉<sup>1</sup>、小野 智憲<sup>1</sup>、牛島 隆二郎<sup>1</sup>、堤 圭介<sup>1</sup>

### S9-6 沖縄県における壮年男性脳内出血の発症原因調査～コホート調査の試み

1 沖縄赤十字病院脳神経外科

○饒波 正博<sup>1</sup>、高良 英一<sup>1</sup>

## ●セッション 10 脳血管障害Ⅲ 16 : 36～17 : 32

---

座 長 大吉 達樹 (鹿児島大学)

コメンテーター 堀江 信貴 (長崎大学)

### S10-1 ANCA 関連発血管炎に伴う破裂動脈瘤にコイル塞栓術を行った1例

1 長崎みなとメディカルセンター脳神経外科

2 長崎大学医学部脳神経外科

○定方 英作<sup>1</sup>、堀江 信貴<sup>2</sup>、高平 良太郎<sup>1</sup>、八木 伸博<sup>1</sup>、陶山 一彦<sup>1</sup>

### S10-2 Posterior ascending artery より Onyx TAE を施行した椎骨動静脈瘻の一例

1 九州労災病院脳神経外科

2 九州労災病院脳血管内科

○徳永 聡<sup>1</sup>、鶴崎 雄一郎<sup>2</sup>、白水 寛理<sup>1</sup>、井上 大輔<sup>1</sup>、安部 大介<sup>2</sup>、司城 昌大<sup>2</sup>、有廣 昇司<sup>2</sup>、芳賀 整<sup>1</sup>

### S10-3 診断に難渋した舌下神経管部硬膜動静脈瘻の一例

1 宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野

○小島 達也<sup>1</sup>、入佐 剛<sup>1</sup>、齋藤 清貴<sup>1</sup>、大田 元<sup>1</sup>、竹島 秀雄<sup>1</sup>

### S10-4 上矢状静脈洞血栓症を合併した上矢状静脈洞部硬膜動静脈瘻の一例

1 福岡大学医学部脳神経外科

2 福岡大学病院救命救急センター

○神崎 貴充<sup>1</sup>、福田 健治<sup>1</sup>、堀尾 欣伸<sup>2</sup>、岩朝 光利<sup>2</sup>、安部 洋<sup>1</sup>、井上 亨<sup>1</sup>

### S10-5 術前塞栓術が有効であった巨大静脈瘤を伴った pial AVF の 1 例

1 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科

○黒木 伸一<sup>1</sup>、米永 理法<sup>1</sup>、田中 俊一<sup>1</sup>、山畑 仁志<sup>1</sup>、樋渡 貴昭<sup>1</sup>、吉本 幸二<sup>1</sup>

### S10-6 頭蓋内大血管に発症した中枢神経限局性血管炎 (PCNSV) と考えられた 1 例

1 伊万里有田共立病院脳神経外科

2 静便堂白石共立病院脳神経外科

○正島 弘隆<sup>1</sup>、本田 英一郎<sup>2</sup>、田中 達也<sup>1</sup>、桃崎 宣明<sup>1</sup>

### S10-7 原発性中枢神経系血管炎の一例

1 福岡赤十字病院脳神経外科

2 河野脳神経外科病院

3 佐世保中央病院脳神経外科

4 佐世保中央病院病理

5 福岡大学医学部病理

○継 仁<sup>1</sup>、吉永 貴哉<sup>2</sup>、天本 宇昭<sup>3</sup>、竹本 光一郎<sup>3</sup>、阪元 政三郎<sup>3</sup>、米満 伸久<sup>4</sup>、鍋島 一樹<sup>5</sup>

閉会の辞 17:32 石内勝吾

(琉球大学大学院脳神経外科学 教授)

●FD 講習会（引き続き学会会場で行います） 17：35～ 18：35

---